

**DENON** *PROFESSIONAL*

業務用CDプレーヤー

**DN-C620**

---

取扱説明書

## 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

### 絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



#### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



指のケガに注意

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

## 安全上のご注意



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 付属の電源コードセットは本機専用です。付属品以外の電源コードセットを使用することは故障や事故につながりますので使用しないで下さい。



アース線を必ず接続せよ

- 安全アースの取付について

本機は安全アースを接続してご使用頂けるように設計しています。電源コードプラグが直接コンセントに差し込めない場合は、付属の電源プラグ変更アダプタ(3P→2P)を使用してコンセントに差し込んでください。その場合は必ず、アダプタのアース線を接地してご使用ください。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この機器を設置する場合は、壁から7.5cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から7.5cm以上、背面から20cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があげてあります。次のような使い方はしないでください。

この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。



警告

## 安全上のご注意



- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス+とマイナス-の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。
- 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードは使用しないでください。



注意



指のケガに注意



手を挟まれないよう注意

- お子様ディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

## 安全上のご注意



電源プラグをコンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒には携帯、保管しないでください。電池のプラス+端子とマイナス-端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。



注意

## 保証とサービスについて

- 1 この商品には保証書を添付しております。  
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。  
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。  
但し、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。  
詳しくは、保証書をご覧ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。  
詳しくは、付属品『製品の修理・サービス窓口のご案内』をご参照ください。

### ステレオ音のエチケット



- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- 窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
- お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## - 目 次 -

<b>1. 全般</b>	<b>2</b>
特長	2
各部の名前とはたらき	2
<b>2. 準備</b>	<b>9</b>
設置	9
接続	10
<b>3. 本体の操作</b>	<b>11</b>
サポートオーディオCD	11
ディスクの入れかたと取り出しかたについて	11
通常のCD再生について	12
いろいろなCD再生について	15
オーディオファイルの再生	21
プリセット機能と操作について	24
<b>4. コントロール機能</b>	<b>31</b>
RS232Cの制御について	31
(パラレル)コントロール	38
RC入力コントロールジャック	39
<b>5. トラブルシューティング</b>	<b>40</b>
<b>6. 主な仕様</b>	<b>41</b>

## ■ 付属品について

本体とは別に以下の内容物が同梱されているかご確認ください。

① リモコン(RC-1061)	1
	
② 単4乾電池	2
	
③ RCAピンコード	1
④ 電源コード	1
⑤ 電源プラグ変換アダプタ(3P→2P)	1
⑥ 取り扱い説明書	1
⑦ 保証書	1
⑧ 製品の修理・サービス窓口のご案内	1

### 資源回収に関する注意

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。梱包材はいずれも、お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めに従って処分してください。本体を廃棄する時は、お住まいの地域の規則または規制に従ってください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制に従って処分してください。

本製品と同梱される付属品は、乾電池を除き WEEE(廃電気電子機器)指令の適用品です。



### ご注意

音楽データ、ファイル等著作物は、著作権法その他の法規、または、お客様との間で締結される使用許諾契約に基づき、その複製や使用について制限されることがあります。複製等される前に、著作物ごとの条件を充分ご確認くださいの上、本製品を適正にご使用くださいますようお願いいたします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負いません。

# 1. 全般

## 特長

### ■ プロ仕様 CD プレーヤーの標準機能搭載

スロットインディスクドライブ  
CDテキスト/MP3 ID3タグ読み込みと表示  
ジョグダイヤルを使った軽快なトラックサーチ  
キュー機能  
レベル調整付きバランスオーディオ出力  
二種類のアンバランスオーディオ出力(固定/可変レベル)  
SPDIFのデジタルオーディオ出力  
CDデータディスクからのオーディオファイルの再生  
CD-R/CD-RW ディスクの再生  
CD-DA, WAVE, MPEG-1 Layer III (MP3)をサポート

### ■ さまざまな CD 再生方法

クイックリプレイ(スキップバック)(時間設定が可能)  
± 12% 可変ピッチコントロール  
プログラム再生  
プレイモードを選択可能(Stop, Next, Recue, Continuous, Random)  
シングル、オール、A-B リピート  
ランダム再生  
オートキュー  
エンドモニタ  
エンドオブメッセージ(EOM)表示

### ■ 19インチ 1Uラックマウント

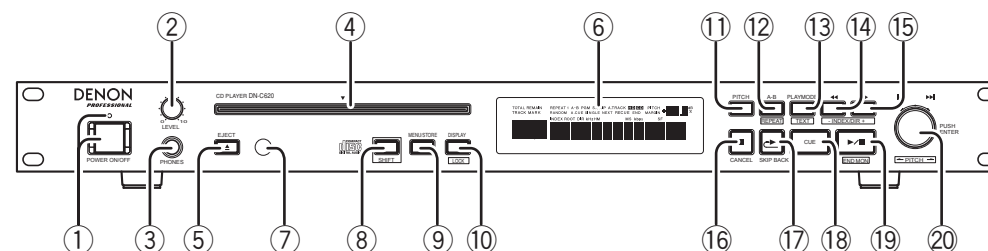
### ■ 赤外線リモコン(RC-1061 付属)

### ■ 外部リモートコントロール

シリアルコントロール(RS232C)  
パラレルコントロール  
ポートレベルコントロール(IR FRASH)

## 各部の名前とはたらき

### (1) フロントパネル



#### ① POWER ON/OFFスイッチとインジケータ

- ボタンを押すと電源を入れたり、切ったりすることができます。
- 電源が入るとインジケータが点灯します。

#### ② LEVEL (音量調整)つまみ

- ヘッドホンの出力レベルを調節するときに使用します。

#### ご注意

- ヘッドホンを使用する時は、音量を上げすぎないように注意してください。高音量で長時間視聴すると慢性的な聴覚障害を引き起こすことがあります。

#### ③ PHONES(ヘッドホン)ジャック

- お使いのヘッドホンをこのジャックに接続することができます。

#### ④ ディスクスロット

- CDを、ラベル面を上にしてスロットに挿入します。

#### ⑤ EJECT ボタン

- ディスクを取り出すときに押します。プリセットでEject Lockがオンになっていると、再生中はEJECT ボタンが効きません。

#### ⑥ ディスプレイユニット

- 詳細は5ページをご覧ください。



## ⑦ リモコンセンサー

## ⑧ SHIFT ボタン

- このボタンを押しているときに、SHIFT モードのキーが使用できます。

## ⑨ MENU/STORE ボタン

- プリセットメニューの画面を表示したり、プリセットメニューの変更を行った後にその内容を保存するときに押します。

## ⑩ DISPLAY/LOCK ボタン

- 時間表示を切り替えるときに押します。
- SHIFT モードのとき、このボタンを3秒以上押すとフロントパネルのボタン操作をロックしたり、ロック解除します。

## ⑪ PITCH ボタン ( 橙色 )

- PITCH のオン・オフを切り替えるときに押します。

## ⑫ A-B/REPEAT ボタン

- 設定したセクションを繰り返し再生するときに押します。再生中にボタンを一度押すと、その位置が A ポイントに設定され、“A-”インジケータがディスプレイに点滅します。
- ボタンをもう一度押すと、その位置が B ポイントに設定され、“A-B”表示が点滅を停止 (点灯) し、A-B 区間の繰り返し再生が開始されます。
- ボタンをもう一度押すと、A-B 繰り返し再生が取り消され、通常再生モードに戻ります。
- SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、リピートモードを切り替えることが出来ます。

## ⑬ PLAYMODE/TEXT ボタン

- Play Mode を切り替えます。
- SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押してテキスト情報を切り替えます。

## ⑭ ⑮ ◀▶ / - INDEX/DIR + ボタン

- 再生を開始する場所を的確に変更するときに、このボタンを使います。ボタンを押し続けた場合、早送りまたは早戻し動作を行います。
- SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、インデックス (音楽 CD) またはディレクトリ (音楽ファイルディスク) を選択します。

## ⑯ ■ /CANCEL ボタン

- 再生を停止するときや入力をキャンセルするときにこのボタンを押します。

## ⑰ SKIP BACK ボタン

- 直前の数秒を再生するときに、このボタンを押します。再生する時間は、プリセットメニューで設定することができます。

## ⑱ CUE ボタンとインジケータ ( 橙色 )

- 再生中に押すと、ピックアップが直前の再生開始位置に戻るかまたは次のトラックに移り、CUE モードになります。
- マニュアルサーチ中に押すと、CUE モードがその位置で設定されます。(再生開始位置が設定されます)

## ⑲ ▶ / || /END MON ボタンとインジケータ ( 緑色 )

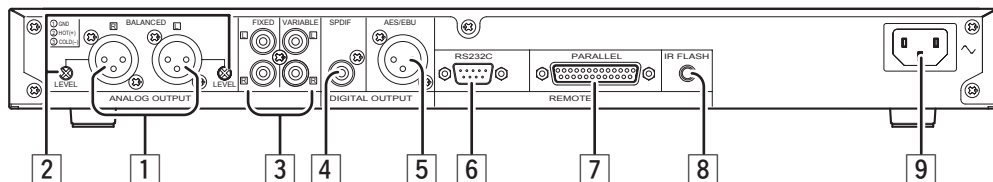
- CUE モード中に SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、エンドモニター機能をスタートすることができます。
- 再生を開始したり、再生を一時停止したりするときに押します。

## ⑳ プッシュボタン付きジョグダイヤル

- ジョグダイヤルを時計方向に1クリック回すと1曲分曲送りし、反時計回りに1クリック回すと1曲分曲戻しします。
- プリセットモードのとき、ジョグダイヤルを回してプリセット項目や設定値を選択します。ジョグダイヤルを押して、プリセット項目と設定値の画面を切り替えます。
- SHIFT ボタンを押しながら、このジョグダイヤルを回してピッチ値を設定します。
- STOP モードまたは一時停止モードのとき、ジョグダイヤルを押して再生を開始します。

## 1. 全般

### (2) リアパネル



#### 1 アナログバランス出力端子

- XLR型ジャックを利用したアナログバランス出力です。CDの再生信号は、このコネクタから出力されます。
- ピンレイアウト：1. GND / 2. Hot / 3. Cold
- 適合コネクタ：  
XLR-3-31 または同等品。

#### ご注意

- HotまたはColdピンをGNDピンに接続しないでください。

#### 2 LEVEL 調節ボリューム

- お手持ちの十字ドライバーでこのボリュームを回して、アナログバランス出力端子からの音声信号レベルを調節します。

#### 3 アナログアンバランス出力端子

- RCA型ジャックを使用したアンバランス出力です。
- VARIABLE  
リモコンユニットやシリアルリモートを使って、出力レベルを調節します。

#### 4 デジタルアンバランス出力端子

- RCA型ジャックを使用したアンバランス出力です。

#### 5 デジタルバランス出力端子

- XLR型ジャックを使用したバランス出力です。  
1. GND / 2. Hot / 3. Cold
- 適合コネクタ：XLR-3-31 または同等品。

#### 6 シリアルコントロール端子

- 外部機器からシリアルコントロールするための端子です。詳しくは、31 ページを参照ください。

#### 7 パラレルコントロール端子

- 外部機器からパラレルコントロールするための端子です。詳しくは、38 ページを参照ください。

#### 8 RC IN リモートジャック ステレオミニジャック

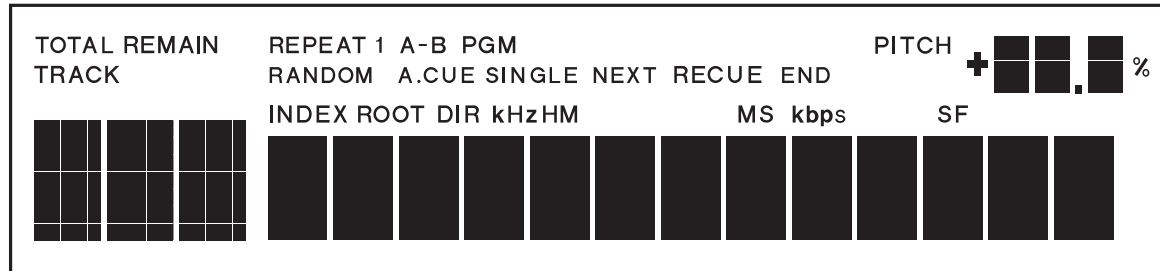
- 外部機器からコントロールするための端子です。  
PLAY, PAUSE, CUE, RWD, FF, TRACK+, TRACK-, SKIP BACK, STOP. の操作が可能。詳しくは、39 ページを参照ください。

#### 9 AC入力

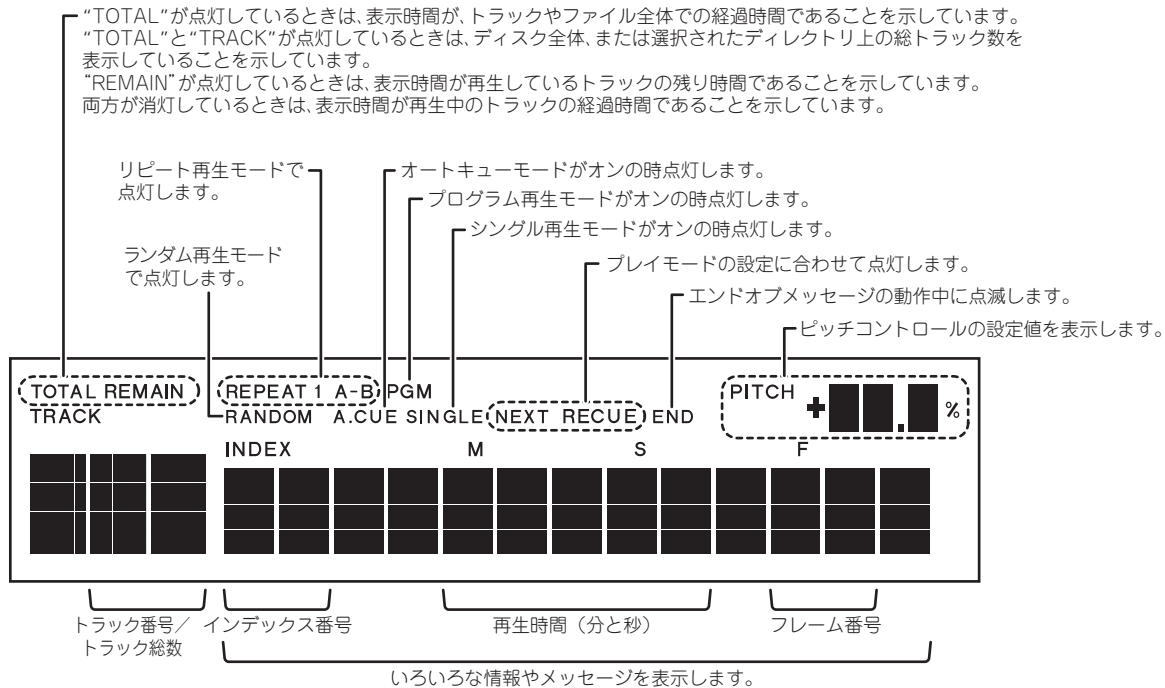
- 付属の電源コードを接続します。

(3) ディスプレイ

アイコンと文字表示で動作状態や本体のメニュー項目を表示します。

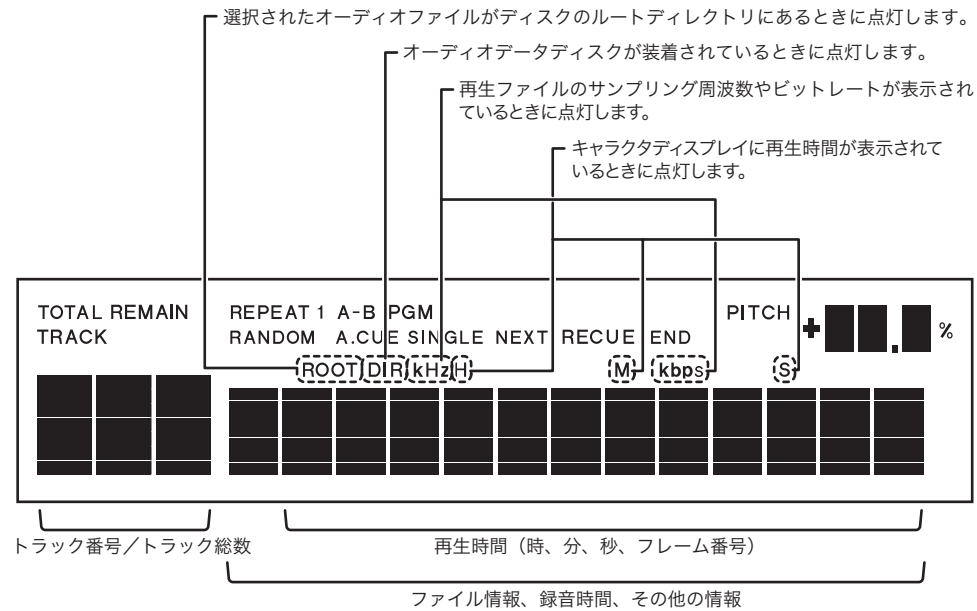


[基本的なCD操作]

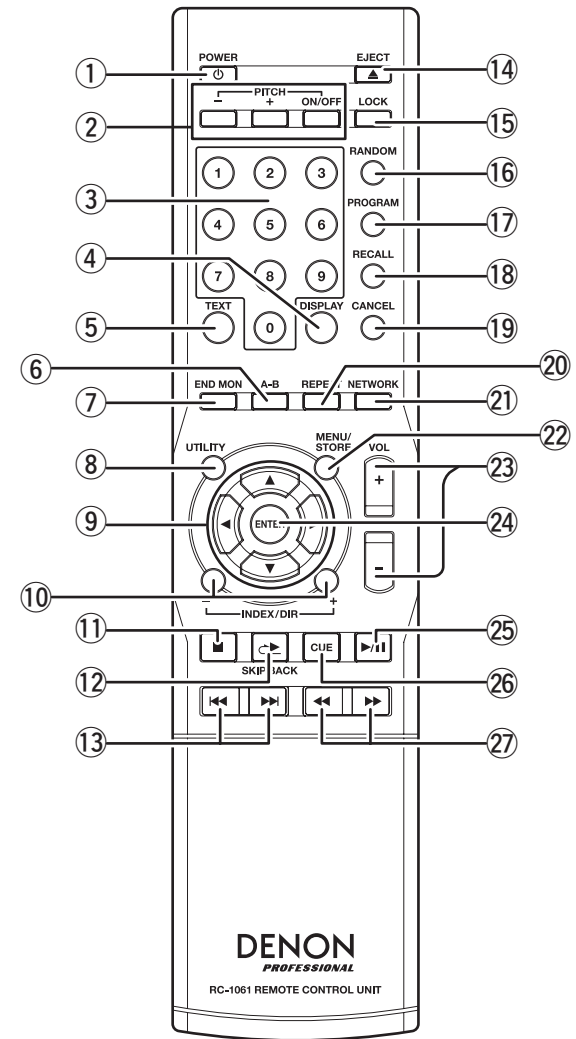


# 1. 全般

## [オーディオファイル時の動作]



## (4) リモコン (RC-1061)



**① POWER ボタン**

電源を入れたり、切ったりするときに押します。

**② PITCH +/- ボタン**

再生速度を変えるときに押します。

**PITCH ON/OFF ボタン**

ピッチコントロール機能を入れたり、切ったりするときに押します。

**③ 0-9 ボタン**

STOP モードで好みの曲を選択するときに押します。

**④ DISPLAY ボタン**

時間モード表示を変更するときに押します。

**⑤ TEXT ボタン**

CD テキストまたは ID3 タグ情報を表示するときに押します。

**⑥ A-B ボタン**

A-B リピート機能をセットしたり、取り消したりするときに押します。

**⑦ END MON ボタン**

エンドモニタ機能を開始するときに押します。

**⑧ UTILITY ボタン**

このボタンは本機では使用しません。

**⑨ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン**

メニューを選択したり曲を選択選択したりするときに使います。

**⑩ INDEX +/- ボタン**

音楽CDのインデックス、またはオーディオデータディスクのディレクトリを選択するときに押します。

**⑪ ■ ボタン**

再生を停止するときにこのボタンを押します。

**⑫ SKIP BACK ボタン**

直前の数秒を再生するときに押します。

**⑬ ◀◀ / ▶▶ ボタン**

曲またはオーディオファイルをスキップするときに押します。

**⑭ EJECT ボタン**

ディスクを取り出すときに押します。

**⑮ LOCK ボタン**

フロントパネルのボタンをロックしたり、ロックを外したりするときに押します。

**⑯ RANDOM ボタン**

ランダム再生モードをセットするときに押します。

**⑰ PROGRAM ボタン**

プログラムモードに入るときに押します。

**⑱ RECALL ボタン**

プログラムした曲を呼び出すときに押します。

**⑲ CANCEL ボタン**

プログラム設定の選択を取り消すときに押します。

**⑳ REPEAT ボタン**

リピート再生をセットするときに押します。

**㉑ NETWORK ボタン**

このボタンは本機では使用しません。

**㉒ MENU/STORE ボタン**

プリセットメニューの画面を表示したり、プリセットメニューの変更を行った後にその内容を保存するときに押します。

**㉓ VOL +/- ボタン**

アナログアンバランス出力端子(VARIABLE)からの再生出力レベルを変更するときに押します。

**㉔ ENTER ボタン**

設定操作を確定するときに押します。

**㉕ ▶ / || ボタン**

再生を開始したり、一時停止したりするときに押します。

**㉖ CUE ボタン**

再生開始位置または次の曲に移動するときに押します。

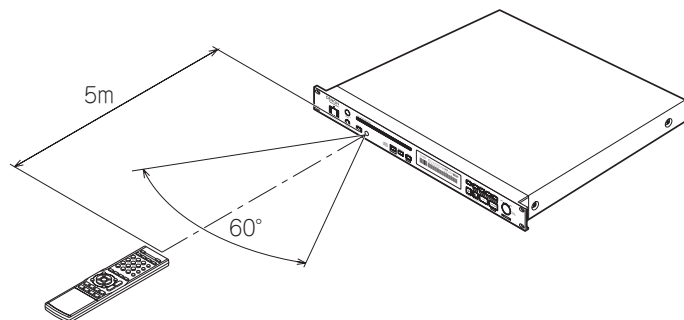
**㉗ ◀◀ / ▶▶ ボタン**

再生を開始する場所を的確に変更するときに押します。ボタンを押し続けた場合、早送りまたは早戻し動作を行います。

## 1. 全般

### • リモコンの使用できる範囲

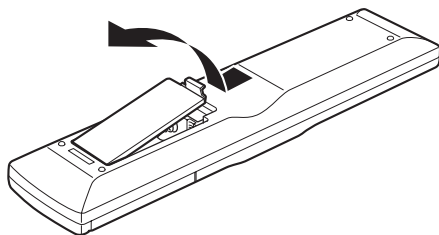
リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のように本機の赤外線受光部から約5m、左右それぞれ30度以内です。



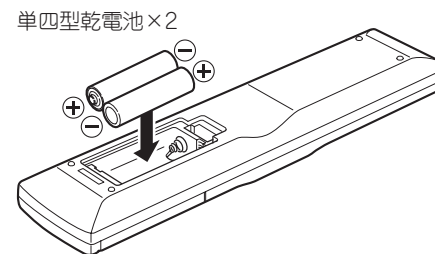
### • リモコンに乾電池を入れる

付属のリモコンをご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

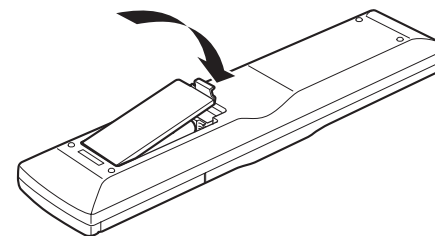
1. リモコン裏面の電池フタのつまみを矢印の方向につまみ、上に引き上げます。



2. 新しい単四形乾電池2本を、極性表示(⊕:プラスと⊖:マイナスの向き)に注意し、表示通りに正しく入れてください。



3. 電池フタを矢印の方向へ押しつけて閉めます。



### ご注意

#### 乾電池の取扱い

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

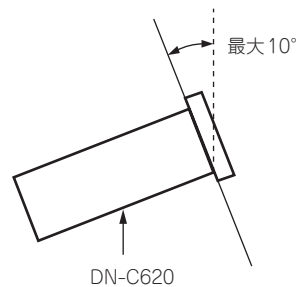
- 長期間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス+とマイナス-の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

## 2. 準備

### 設置

#### ■ ラックへの取り付け

- DN-C620は1Uサイズです。EIA規格の19インチラックに取り付けることができます。DN-C620をラックに取り付けるときは、ラック側にガイドレールや棚板などを使用しDN-C620のフロントパネルに加重がかからないようにします。フロントパネルだけの取り付けではDN-C620(4.3kg)の重さを支えることができません。
- 本体の上部をカバーなどで覆わないようにしてください。熱はDN-C620の上部表面から放熱します。
- 設置環境にご注意ください。たとえば、他の装置からの熱がDN-C620の加わらないように設置します。  
必要であれば強制空冷を行ってください。DN-C620の周辺環境は、41ページの“仕様”に記載された条件を満たしている必要があります。
- DN-C620は、フロントパネルが垂直面に対して10度以内の傾きで取り付けられているときに、正常動作します。本機が過度に傾いていると、ディスクの出し入れが正しく行われないことがあります。



- DN-C620をアンブレやチューナまたは他の機器の近くに設置される場合、ノイズ(ハムノイズ)またはビート干渉が生じることがあります(特にAMまたはFM受信時)。干渉が発生する場合は、DN-C620を他の機器から切り離すか、または設置場所を変えてください。

## 2. 準備

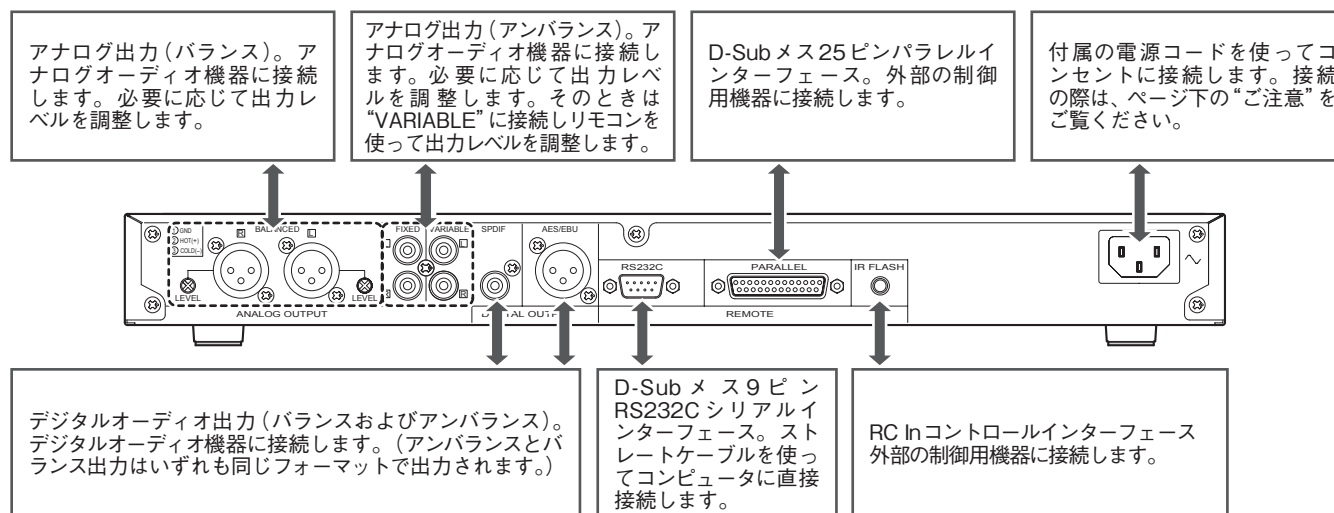
### 接続

ご使用になるすべての機器(DN-C620を含む)の電源をオフにしたままで、DN-C620と他のコンポーネントの接続をすべて完了してください。

#### ■ 接続に際してのご注意

- 本機のケーブル接続および電源コードを抜き差しする場合は、すべてのシステム機器の電源をオフにしてから行ってください。
- すべてのケーブルがL(左)とR(右)ジャックに正しく接続されているのを確認してください。
- プラグは端子にしっかり差し込んでください。
- 出力端子をアンプのCDまたはAUX入力ジャックに接続してください。
- DN-C620の裏側にある通信ポートにRS232Cの一方の端子を接続し、もう一方の端子をコンピュータの「RS232C」ポートに接続します。
- 外部リモート(PARALLELとIR FLASH)については、仕様合ったものを接続してください。仕様外のものに接続すると故障の原因になります。

#### ■ 基本接続



#### ご注意




- 接続する前に、POWER ボタンを押して電源を切ります。
- ぬれた手で電源コードに触らないでください。
- 電源コードを抜くときはプラグを持っていることを確認します。コードを引っ張ったり曲げたりするとコードが損傷したり、感電や火事の原因になることがあります。
- 安全アースの取付について 本機は安全アースを接続してご使用頂けるように設計しています。電源コードプラグが直接コンセントに差し込めない場合は、付属の電源プラグ変更アダプタ (3P → 2P) を使用してコンセントに差し込んでください。その場合は必ず、アダプタのアース線を接地してご使用ください。



## 3. 本体の操作

### サポートオーディオCD

音楽CD以外にも、DN-C620はさまざまなフォーマットの音楽CDを再生することができます。

音楽CD(CD-DA)	
テキスト入りコンパクトディスク(CD TEXT)	
CDエクストラ(CD EXTRA)	

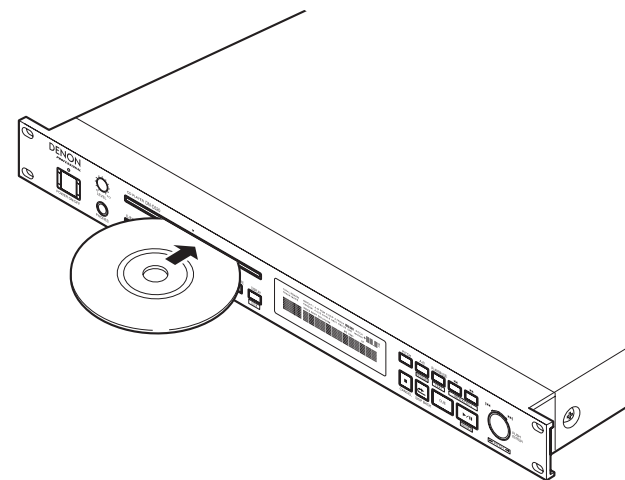
#### ご注意

- コピーコントロールCDの中には公式のCD規格を満たしていないものがあります。それらは特殊なディスクであるためDN-C620で再生できないことがあります。

### ディスクの入れかたと取り出しかたについて

この操作は、電源が入っているときに限り動作します。

- POWER ON/OFFスイッチを押して、電源を入れます。
- ディスクを端でつかんで、ディスクスロットに挿入します。  
(信号記録面、つまり光沢面には手を触れないでください。)
- ディスクを取り出すときは、EJECTボタンを押します。



#### ■ メッセージについて

DN-C620をお使いの際に、メッセージが表示されることがあります。メッセージの内容を以下に説明します。

メッセージ	内容
No Disc	ディスクが入っていません。
Eject Locked	再生中のディスク取り出しがロックされています。プリセットのメニューを確認して下さい。

#### ご注意

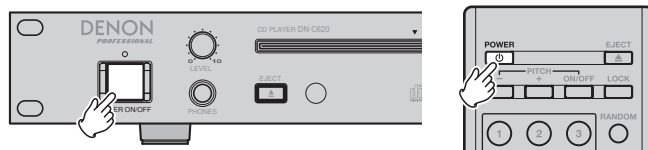
- 電源がオフのときにディスクを手で押し入れないでください。CDプレーヤーの故障や損傷の原因になることがあります。

### 3. 本体の操作

## 通常のCD再生について

### (1) 再生を始める前に

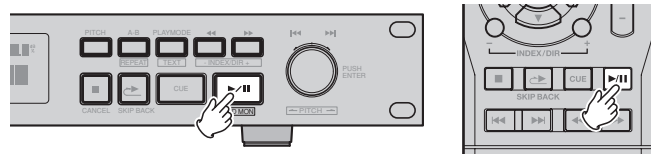
1. POWER ON/OFFスイッチを押して、電源を入れます。



2. 再生したいディスクを入れます。
3. ご使用の目的に従って、プリセット機能を設定します。(24ページを参照)

### (2) 再生のしかた

1. ▶ / || / END MON ボタンを押します。

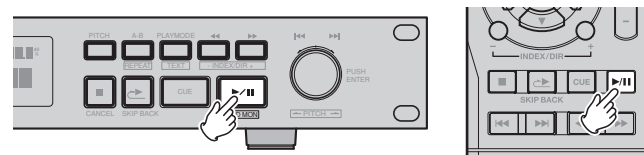


- CUEボタンが点灯している状態で▶ / || / END MON ボタンを押すと インスタントスタート(瞬時に再生を開始する機能)になります。

### (3) 一時停止のしかた

再生を一時的に停止させたり、曲の同じポイントから再開したりすることができます。

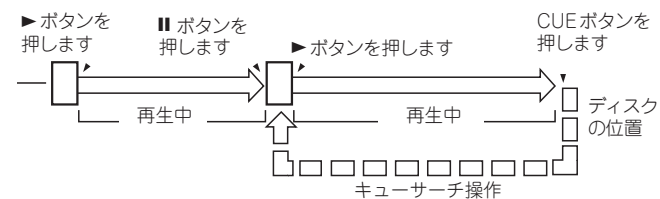
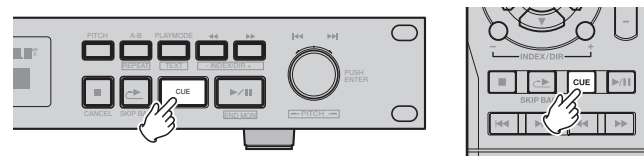
1. 再生中に▶ / || / END MON ボタンを押します。(ポーズ中は▶ / || / END MON ボタンが点滅します。)



2. 再生を再開する場合には、▶ / || / END MON ボタンを押します。

### (4) 再生開始位置に戻る方法

プリセットメニューのCUEモードをRECUEにセットして、再生中にCUEボタンを押すと、CUEモードとなり、ピックアップが再生開始位置に戻ります。

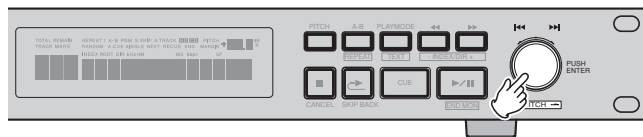


### (5) 再生の止めかた

1. ■ / CANCEL ボタンを押します。

**(6) 再生途中で次の曲に進むとき**

- 再生途中で**ジョグダイヤル**を時計方向に回します。



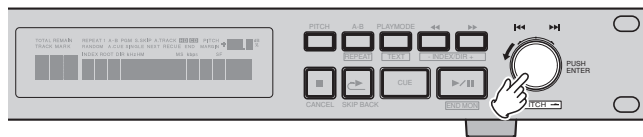
- ピックアップが次の曲の開始位置に進み、プリセットメニューでStart modeが“Play”にセットされていれば再生が継続されます。
- プリセットメニューのStart modeが“Stop”か“Cue”にセットされていれば次の曲の開始位置でCUEモードになります。(Start modeについては26ページを参照)

**ご注意**

- プリセットメニューでNext track reserveがオンに設定されている場合、再生中にジョグダイヤルを回すとディスプレイのトラック番号表示部が点滅し、次に再生する曲を選択することができます。

**(7) 再生途中で、聴いている曲の開始位置に戻るとき**

- 再生途中で**ジョグダイヤル**を反時計方向に回します。



- ピックアップが聴いている曲の開始位置に戻り、Start modeがプリセットメニューの“Play”にセットされていれば再生が開始されます。
- Start modeがプリセットメニューの“Stop”か“Cue”にセットされていればCUEモードになります。

**ご注意**

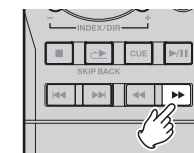
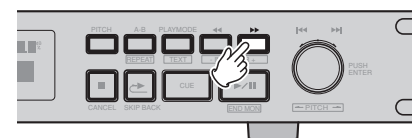
- プリセットメニューでNext track reserveがオンに設定されている場合、再生中にジョグダイヤルを回すとディスプレイのトラック番号表示部が点滅し、次に再生する曲を選択することができます。

**(8) 早聴きしながら曲を検索するとき**

- この機能を使うと、早送りまたは早戻しで曲の好みのポイントを素早く探すことができます。
- 一時停止モードで**SEARCH**ボタンを押すと一時停止モードは解除され、サーチ時の演奏音が出力されます。

**■ 早送りマニュアルサーチをするとき**

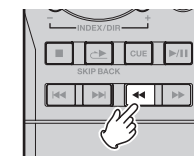
- 再生中に**SEARCH**(▶▶)ボタンを押します。



- 再生が解除され、再生ポイントの音が繰り返し出力されます。**SEARCH**(▶▶)ボタンを1クリック押すごとに再生ポイントが1フレーム先に進みます。ボタンを長く押すと早送りになります。

**■ 早戻しマニュアルサーチをするとき**

- 再生中に**SEARCH**(◀◀)ボタンを押します。



- 再生が解除され、再生ポイントの音が繰り返し出力されます。**SEARCH**(◀◀)ボタンを1クリック押すごとに再生ポイントが1フレーム前に戻ります。ボタンを長く押すと早戻しになります。

### 3. 本体の操作

#### (9) インデックススキップ

インデックスが記録されている曲を再生中、インデックスの頭出しができます。一つの曲が長い時に、聴きたいところから再生できる便利な機能です。

SHIFT モードのとき INDEX/DIR- ボタンを押した回数だけ、またはリモコンの INDEX/DIR- ボタンを押した回数だけ前のインデックスに戻ります。

SHIFT モードのとき INDEX/DIR+ ボタンを押した回数だけ、またはリモコンの INDEX/DIR+ ボタンを押した回数だけ次のインデックスに進みます。

インデックスの記録されていないCD でインデックススキップの操作をすると、ディスプレイに "No Index" と表示されます。

#### ご注意

- MP3 ファイルで記録されているディスクでは、インデックススキップ機能を使用できません。

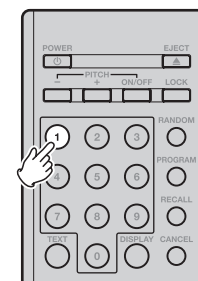
#### (10) ダイレクトジャンプ

停止中に、リモコンの数字ボタン (0～9) を押すと、聴きたい曲番を直接指定することができます。

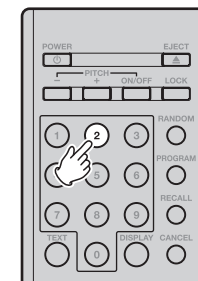
10 曲目以降の曲番を選ぶときは、10 の位 → 1 の位という順に数字ボタンを押します。曲番が選ばれた後の動作は Start mode の設定によって異なります。

#### 例: 12 曲目を再生するとき

- プリセットの Start mode を "Play" に設定します。
- 数字ボタン "1" を押します。



- 一秒以内に数字ボタン "2" を押します。

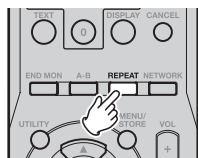


## いろいろなCD再生について

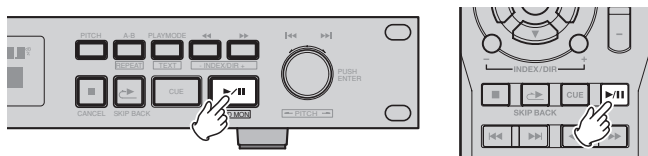
### (1) 繰り返して聴くとき

#### (シングルトラックリピート)

1. **PLAYMODE/TEXT** ボタンを押して“Single Stop”、“Single Recue”、“Single Next”または“Random”にセットします。
2. **SHIFT** ボタンを押しながら **A-B/REPEAT** ボタンを押します。



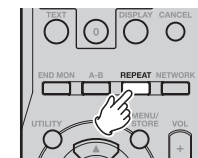
- “REPEAT 1”表示がディスプレイに点灯され、シングルトラックリピートモードがセットされます。
3. ジョグダイヤルを回してリピート再生するトラックを選択します。
  4. **▶ / || / END MON** ボタンを押します。



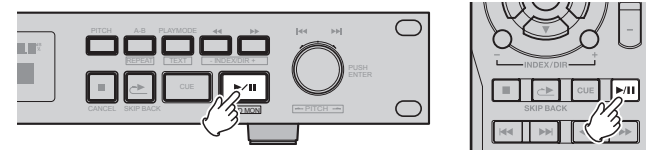
- リピート再生が開始します。
- トラックの終わりまで再生すると、トラックの頭に戻って再生を繰り返します。
- シングルリピートモードは、再生途中で **SHIFT** ボタンを押しながら **A-B/REPEAT** ボタンを押してもセットできます。
- シングルリピートモードを取り消す場合は、**SHIFT** ボタンを押しながら **A-B/REPEAT** ボタンを、“REPEAT1”表示が消灯するまで繰り返し押します。

#### (全曲リピート)

1. Play modeを“Continuous”または“Random”にセットします。
2. **SHIFT** ボタンを押しながら **A-B/REPEAT** ボタンを押します。



- “REPEAT”表示がディスプレイに点灯され、全曲リピートモードがセットされます。
3. **▶ / || / END MON** ボタンを押します。



- ディスクのリピート再生が開始します。
- 全曲リピートモードは、再生途中で **SHIFT** ボタンを押しながら **A-B/REPEAT** ボタンを押してもセットできます。
- プログラム再生中に **SHIFT** ボタンを押しながら **A-B/REPEAT** ボタンと押すと、プログラムの順番通りに繰り返し再生します。
- 全曲リピートモードを取り消す場合は、**SHIFT** ボタンを押しながら **A-B/REPEAT** ボタンを、“REPEAT”表示が消灯するまで繰り返し押します。

#### ご注意

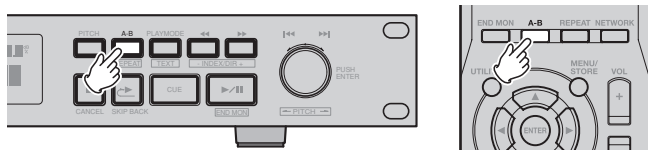
- 繰り返し再生を行う、シングルトラックリピートと全曲リピート動作は、P19のプレイモードの設定を参照の上ご使用下さい。

### 3. 本体の操作

#### (2) 指定した2点間を繰り返して聴くとき

##### (A-B区間リピート)

1. 再生中に、リピート再生を開始したい位置(Aポイント)で**A-B**ボタンを押します。



- “A-”表示がディスプレイに点滅します。
2. 再生中に、繰り返し再生を終了したい位置(Bポイント)で**A-B**ボタンをもう一度押します。
    - “A-B”表示が点灯し、A-B区間の繰り返し再生が開始されます。
    - Bポイントがない場合は、聴いている曲の終了位置がBポイントにセットされます。
  3. A-B区間リピート再生を取り消す場合は、**A-B**ボタンをもう一度押します。

#### ご注意

- AポイントとBポイントは、少なくとも1秒以上の間隔でセットしてください。

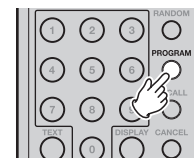
#### (3) 好きな曲を好きな順番に再生するとき

##### (プログラム再生)

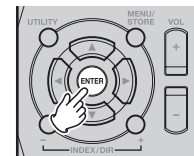
- この機能を使うと、ディスクの好きな曲を選んで、好きな順番に再生することができます。
- 最大で99曲のプログラムができます。

##### ■ プログラムの登録

1. リモコンの**PROGRAM**ボタンを押します。



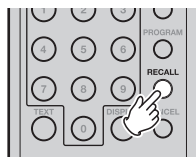
- “PGM”表示が点滅し、プログラム番号と曲番がディスプレイに表示されます。
2. リモコンの◀◀または▶▶ボタンを押してトラックを選択します。
  3. リモコンの**ENTER**ボタンを押してトラックを登録します。



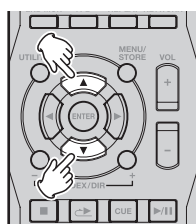
- 次のトラックを登録する場合は、**ENTER**ボタンをもう一度押します。
  - ステップ2と3を繰り返して、好きな順番にトラックをプログラムします。
4. **PROGRAM**ボタンを押して、プログラム登録モードを終了します。
    - “PGM”表示が点灯して、プログラムモードにセットされます。

### ■ プログラムの編集

1. “PXX”の表示中に、リモコンの**RECALL**ボタンを押します。

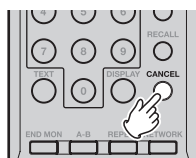


2. リモコンの**UP**または**DOWN**ボタンを押して編集したいプログラム番号を選択します。

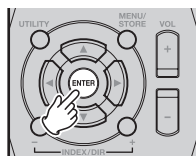


3. リモコンの**◀◀**または**▶▶**ボタンを押してトラックを選択します。

4. リモコンの**CANCEL**ボタンを押すとプログラム番号のトラックが削除されます。

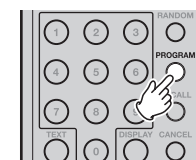


5. リモコンの**ENTER**ボタンを押してトラックを選択します。



- 次のトラックを入力するには**ENTER**ボタンをもう一度押します。ステップ3～5を繰り返して、曲を好きな順番にプログラムします。

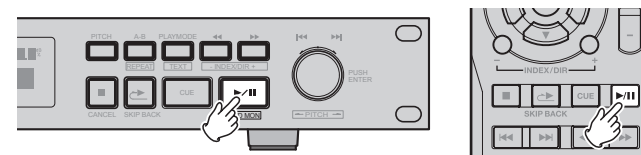
6. **PROGRAM**ボタンを押して、プログラム編集モードを終了します。



- “PGM”表示が点灯して、本体はプログラム再生が可能な状態になります。

### ■ プログラムの再生

1. 本体の**▶ / || / END MON**ボタンまたはリモコンの**▶ / ||**ボタンを押します。



- プログラム再生が開始します。

### ■ プログラムモードの終了

1. **PROGRAM**ボタンを押します。

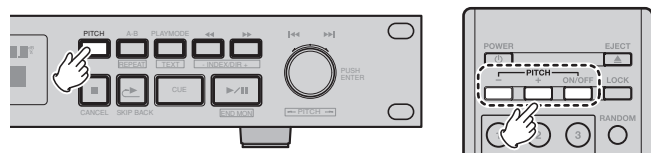
- “PGM”表示が消灯します。
- **EJECT**ボタンが押された場合もプログラムは解除されます。

### 3. 本体の操作

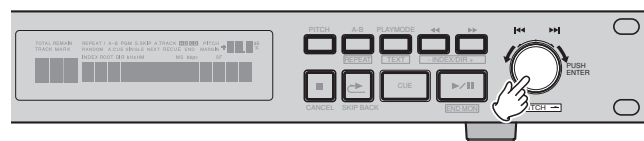
#### (4) ピッチを変えて再生するとき

ピッチコントロールを使うと再生時のスピードを速く(+)したり遅く(-)することができます。

1. ピッチコントロールのオン・オフ  
PITCH ボタンを押します。

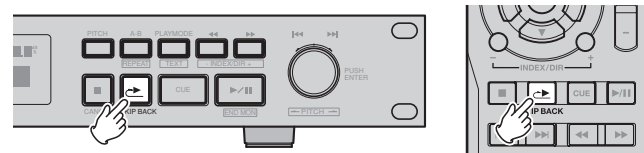


- ピッチコントロールがオンになると PITCH ボタンが橙色に点灯します。
  - ディスプレイに表示されるピッチコントロールの設定にしたがって再生ピッチとスピードが増加または減少します。
  - PITCH ボタンをもう一度押すと、ピッチコントロールはオフになり、PITCH ボタンが消灯します。
2. 再生スピードの調整  
SHIFT モード時にジョグダイヤルを反時計方向←に回すと再生ピッチとスピードが下がり、ジョグダイヤルを時計方向→に回すとピッチとスピードが上がります。



#### (5) スキップバック

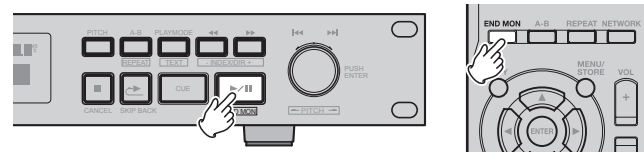
スキップバックは再生中のトラックをリプレイする機能です。再生中に本体またはリモコンの SKIP BACK ボタンを押すと、設定された秒数だけ戻して聴き直すことができます。



- 工場出荷時のスキップバック時間は10秒です。
- スキップバック時間の設定方法は27ページをご覧ください。

#### (6) エンドモニタ

エンドモニタは再生中のトラックの最後の数秒を再生する機能です。Play mode が "Continuous" に設定されている場合は、ディスクの最終トラックの最後の数秒を再生します。Cue モードのときに、SHIFT ボタンを押しながら本体の ▶ / || / END MON ボタンを押すか、またはリモコンの END MON ボタンを押すと、トラックの終端よりプリセットで設定された分だけ手前の位置から再生します。



- 工場出荷時のエンドモニタ時間は10秒です。
- エンドモニタ時間の設定は27ページをご覧ください。



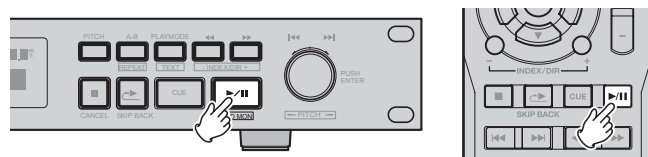
**(7) プレイモード**

Play Modeはトラックやファイルの再生終了後の動作を設定します。

設定値	内容
Continuous (初期設定)	再生が終了すると、次の曲を再生します。
Single Next	再生が終了すると、次の曲の頭に進みCUEモードになります。
Single Recue	再生が終了すると、再生開始位置に戻りCUEモードになります。
Single Stop	再生が終了すると、STOP モードで停止します。
Random	全てのトラックを、ランダムに再生します。

**(Continuous)**

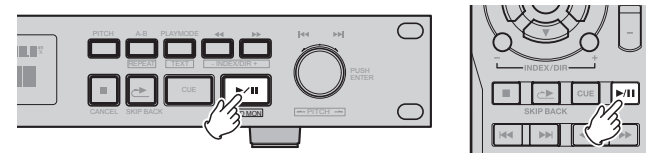
1. **PLAY MODE/TEXT** ボタンを押します。
  - “Single” および“Random”を非表示にし、continuousモードに設定します。
2. ジョグダイヤルを回して再生するトラックを選択します。
3. フロントパネルの **▶ / || / END MON** ボタンを押すか、またはリモコンの **▶ / ||** ボタンを押します。



- 再生がスタートします。
- 再生が終了すると次のトラックを再生します。
- 最後のトラックが終了すると再生を終了しSTOPモードで停止します。

**(Single Next)**

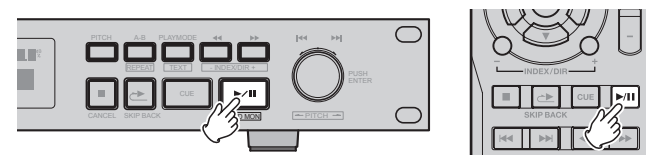
1. **PLAY MODE/TEXT** ボタンを押します。
  - “Single Next”を表示させSingle Nextモードに設定します。
2. ジョグダイヤルを回して再生するトラックを選択します。
3. フロントパネルの **▶ / || / END MON** ボタンを押すか、またはリモコンの **▶ / ||** ボタンを押します。



- 再生がスタートします。
- 再生が終了すると次のトラックに進みCUEモードになります。

**(Single Recue)**

1. **PLAY MODE/TEXT** ボタンを押します。
  - “Single Recue”を表示させSingle Recueモードに設定します。
2. ジョグダイヤルを回して再生するトラックを選択します。
3. フロントパネルの **▶ / || / END MON** ボタンを押すか、またはリモコンの **▶ / ||** ボタンを押します。

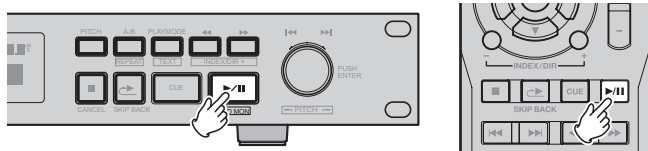


- 再生がスタートします。
- 再生が終了すると再生開始位置に戻りCUEモードになります。

### 3. 本体の操作

#### (Single Stop)

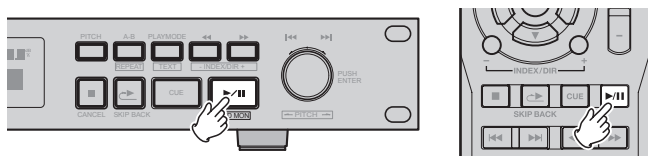
1. **PLAY MODE/TEXT** ボタンを押します。
  - “Single” を表示させ Single Stop モードに設定します。
2. ジョグダイヤルを回して再生トラックを選択します。
3. フロントパネルの **▶ / || / END MON** ボタンを押すか、またはリモコンの **▶ / ||** ボタンを押します。



- 再生がスタートします。
- 再生が終了するとSTOPモードで停止します。

#### (Random)

1. **PLAY MODE/TEXT** ボタンを押します。
  - “Random” を表示させ Random 再生モードに設定します。
2. フロントパネルの **▶ / || / END MON** ボタンを押すか、またはリモコンの **▶ / ||** ボタンを押します。





- 再生がスタートします。
- ランダムにトラックをすべて再生します。

## オーディオファイルの再生

DN-C620は、一般的なCD-DAディスクの他にも以下のデータディスクを読み込むことができます。

読み込み可能な圧縮／非圧縮のオーディオファイルについては“オーディオファイルの仕様”をご参照ください。

### ■ 再生可能なデータディスク

CD-R	
CD-RW	

### ご注意

- DN-C620はデータディスクの以下のファイルシステムをサポートしています。  
ISO9660 Level1 およびLevel2, Joliet
- DN-C620はファイナライズされていないCD-Rディスクは読めません。
- DN-C620はマルチセッションディスクの最初のセッションのみを再生します。
- データディスクを読むためには以下の条件を満足している必要があります。
  - 最大ディレクトリ数 : 254
  - 最大ファイル数 : 999  
1000以上のファイルが存在する場合は最初の999ファイルが再生されます。
  - フォルダレイヤ : 8 レイヤ(ルートディレクトリを含む)
- DN-C620は日本語などの2バイト文字には対応していません。

### ■ オーディオファイルの仕様

DN-C620はPCM、MP3オーディオフォーマットをサポートしています。

	PCM	MP3
ファイル拡張子	wav	mp3
システム	16-Bit Linear PCM	ISO/IEC11172-3 MPEG1- L3
サンプリング周波数	48kHz, 44.1kHz, 32kHz	48kHz, 44.1kHz, 32kHz
転送レート	-	32 kbps – 320 kbps
ビット数	16-bit	16-bit

### 3. 本体の操作

#### ■オーディオファイル再生においてサポートされない機能

オーディオファイルについて以下の機能はサポートされません。

- インデックススキップ機能は使用できません。
- ハーフレートのオーディオファイル、MPEG2-L3(24kHz, 22.05kHz, 16kHz)の再生。
- オーディオファイルにコンテンツ保護が含まれていると再生できないことがあります。

#### ■オーディオファイルは“トラック”として再生されます

ディレクトリ(フォルダとも呼ばれる)はCD上で階層構造を持っています。

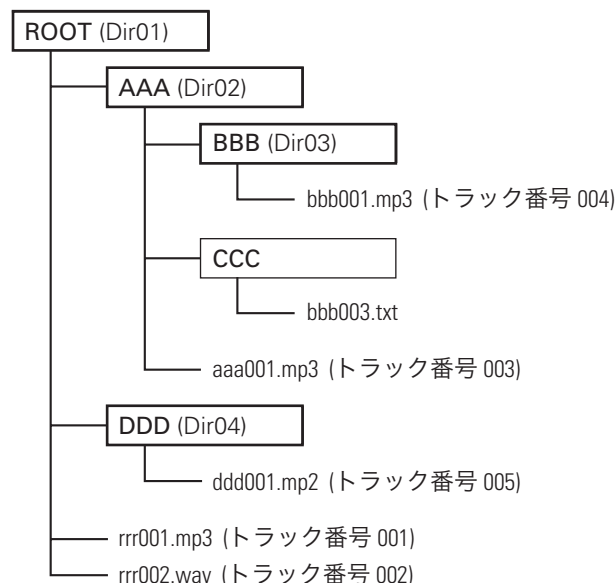
ディスクをローディングしすべてのファイルを検索した後、DN-C620はすべてのオーディオファイルにトラック番号を割り当てます。

選択されたディレクトリ内のファイルだけが操作対象となり、プログラム再生やリピート再生などの機能は同じようにディレクトリ内で有効です。

たとえば以下のイラストのように、最初にそれぞれのオーディオファイルがトラック番号に割り当てられます。

ディレクトリAAA、ディレクトリBBBとディレクトリDDDにはオーディオファイルが含まれており、動作対象として選択できます。ところがディレクトリCCCは動作対象外となります。

ディレクトリAAAが選択された場合、CDの動作、たとえばプログラム再生はディレクトリAAA内のオーディオファイルに対してのみ有効です。つまり、aaa001.mp3/トラック番号003、bbb001.mp3/トラック番号004が動作対象となります。



#### ■表示情報

DN-C620にデータディスクが挿入されると、さまざまな情報が、ディスプレイユニットの13桁の英数字表示部分に表示されます。

再生、ポーズ、サーチ、エンドモニタまたはキューのときは、**DISPLAY/LOCK** ボタンが押されるたびに以下の情報が順番に表示されます。

- 経過時間
- ↓
- 残り時間
- ↓
- ファイル名
- ↓
- ファイル情報  
: サンプリング周波数、ビットレートまたはビット数、とファイルフォーマット (PCM、MP3)
- ↓
- チャンネル  
: “Stereo”または“Mono”

#### ■テキスト情報

MP3ファイルが録音されたディスクがDN-C620に装着されると、上の表示に加えて、ディスプレイユニット上のキャラクタ表示部にいろいろな情報が表示されます。この情報はMP3ファイルにID3タグとして記録されているものです。再生、ポーズ、サーチ、エンドモニタまたはキューのときに、SHIFTモードで**PITCH/TEXT** ボタンが押されるたびに、以下の情報が順番に表示されます。

- [上の情報]
- ↓
- タイトル
- ↓
- アーティスト
- ↓
- アルバム

#### ご注意

- ファイルに規定のID3情報が正しく記録されていない場合は、表示されないことがあります。

**(1) ディスク上のオーディオファイルを再生するとき**

1. オーディオファイルが録音されたディスクを挿入します。



- ディスプレイ表示が“Loading”に変わります。ディスクの内容が読み込まれると、曲の合計数が表示されます。
2. ジョグダイヤルを回して、聴きたいファイルを選択します。
    - ファイル名がディスプレイのトラック番号の後ろにスクロール表示されます。
  3. ▶ / || / END MON ボタンを押します。

**(ディレクトリスキップ)**

1. SHIFTモードのとき、INDEX/DIR + / - ボタンを押して、フォルダを選択します。
  - ディスプレイには、サブフォルダを含むすべてのフォルダ名が表示されます。
2. ▶ / || / END MON ボタンを押します。
  - 選択したフォルダ内の最初のファイルから再生が始まります。

**(2) オーディオファイルのいろいろな再生のしかた**

ディスク上のオーディオファイル再生でも、以下のようないろいろな再生ができます。操作方法の詳細は15ページから18ページをご覧ください。

## ■ シングルトラックリピート

## ■ 全曲リピート

## ■ A-Bリピート

## ■ プログラム再生

## ■ ピッチコントロール

## ■ スキップバック

## ■ エンドモニタ

### 3. 本体の操作

## プリセット機能と操作について

### (1) プリセットの変更

[フロントパネルを使って]

1. 停止時にMENU/STORE ボタンを押します。

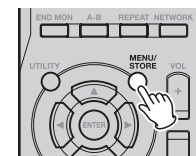


最後に設定したプリセット項目がディスプレイに表示されます。

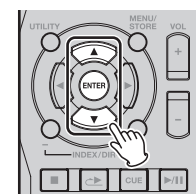
2. ジョグダイヤルを回して変更したいプリセット項目を選択します。
3. ジョグダイヤルを押して選択を確定します。設定値がディスプレイに表示されます。ここでプリセット項目の設定値の変更ができます。設定内容の詳細は25ページをご覧ください。
4. ジョグダイヤルを回してプリセット項目の設定値を調整します。ジョグダイヤルを押すと設定が確定します。2から4までの操作を繰り返して設定を行います。
5. MENU/STORE ボタンを押すと設定内容が保存されます。  
■/CANCEL ボタンを押すと設定内容がキャンセルされSTOPモードに戻ります。

[リモコンを使って]

1. 停止時にMENU/STORE ボタンを押します。  
最後に設定したプリセット項目がディスプレイに表示されます。



2. ▲または▼ボタンを押して変更したいプリセット項目を選択します。
3. ENTER ボタンを押して選択を確定します。設定値がディスプレイに表示されます。ここでプリセット項目の変更ができます。設定内容の詳細は25ページをご覧ください。



4. ▲または▼ボタンを押してプリセット項目の設定値を調整します。ENTER ボタンを押すと設定が確定します。2から4までの操作を繰り返して設定を行います。
5. MENU/STORE ボタンを押すと設定内容が保存されます。  
■ボタンを押すと設定内容がキャンセルされSTOPモードに戻ります。

## (2) プリセット項目と初期設定値の一覧表

番号	表示	設定値	工場出荷時の設定	参照
1.	Power On	Play /Stop	Stop	Page 26
2.	Start Mode	Play /CUE /Stop	CUE	Page 26
3.	Cue Mode	Recue /Next	Recue	Page 26
4.	Auto Cue	Off /-48dB /-42dB /-36dB	Off	Page 26
5.	Fade In	Off /0.5sec - 10.0sec(0.5second steps)	Off	Page 27
6.	Fade Out	Off /0.5sec - 10.0sec(0.5second steps)	Off	Page 27
7.	Skip Back	1.0 - 30.0 sec(0.5 second steps)	10.0	Page 27
8.	End Monitor	5 /10 /15 /20 /25 /30 /35 sec	10	Page 27
9.	EndOfMessage	Off /0 /5 /10 /15 /20 /30 /60 sec	10	Page 28
10.	NextTrReserve	On /Off	Off	Page 28
11.	Fader Start	Play /Play-Pause	Play-Pause	Page 29
12.	Index Tally	Index2 /Index3	Index2	Page 29
13.	Mono	On /Off	Off	Page 29
14.	Auto Sleep	OFF /30sec /10 min /20 min /30min	30 min	Page 29
15.	Eject Lock	On /Off	On	Page 29
16.	F/W Version	(本体のファームウェアのバージョンを表示します。)	-	Page 30
17.	Default	-	-	Page 30

### 3. 本体の操作

#### (3) プリセット機能の詳しい解説

##### 1. パワーオン再生(Power On)

TOC やディレクトリ構造が読み出された後の動作を設定します。

設定値	内容
Play	パワーオン/ブート終了後に、再生が始まります。
Stop(初期設定)	パワーオン/ブート終了後に、STOP モードになります。

##### 2. スタートモード(Start Mode)

トラックサーチでトラックが選択された後の動作を設定します。

設定値	内容	
	ディスクが挿入されたとき	トラックやインデックスが切り換えられたとき
Play	ディスクの最初のトラックから再生します。	選択したトラックやインデックス、ファイルから再生します。
Cue(初期設定)	ディスクの最初のトラックの頭でキューモードにします。	選択したトラックやインデックスやファイルの頭でキューモードにします。
Stop	STOPモードにします。	選択したトラックやインデックスやファイルの頭でキューモードにします。

##### 3. キューモード(Cue Mode)

CUE ボタンが押されたときの動作を設定します。

設定値	内容
Recue(初期設定)	再生中の曲の再生開始位置に戻ります。
Next	次の曲の頭でキューモードにします。

##### 4. オートキュー(Auto Cue)

オートキューで検出する音声レベルを設定します。

設定値	内容	
	オートキュー機能	検出レベル
Off(初期設定)	Off	---
-48dB	On	-48dB
-42dB	On	-42dB
-36dB	On	-36dB

#### ご注意

- 最大設定時間(20秒)を超えても音声を検出されないときは、INDEX 01 の頭でキューモードになります。



5. **フェードイン時間**(Fade In)  
フェードイン機能にかける時間を設定します。

設定値	内 容	
	フェードイン機能	フェードイン時間
Off(初期設定)	Off	---
0.5秒～10.0秒 (0.5秒ステップ)	On	0.5秒～10.0秒

6. **フェードアウト時間**(Fade Out)  
フェードアウト機能にかける時間を設定します。

設定値	内 容	
	フェードアウト機能	フェードアウト時間
Off(初期設定)	Off	---
0.5秒～10.0秒 (0.5秒ステップ)	On	0.5秒～10.0秒

7. **スキップバック時間**(Skip Back)  
本体やリモコンのSKIP BACK ボタンが押されたときにDN-C620 がリプレイのために戻る時間を設定します。

設定値	内 容	
	スキップバック時間	
1.0秒～30.0秒 (初期設定10.0秒) (0.5秒ステップ)	1.0秒～30.0秒	

8. **エンドモニタ時間**(End Monitor)  
本体またはリモコンのEND MON ボタンが押されたとき、DN-C620 が再生する曲の末尾の秒数を設定します。

設定値	内 容	
	エンドモニター時間	
5秒～35秒 (初期設定10秒) (5秒ステップ)	5秒～35秒	

### 3. 本体の操作

#### 9. エンドオブメッセージ時間(EndOfMessage)

エンドオブメッセージの時間を設定します。再生中の曲の残り時間がこの時間より短くなると再生が終了するまで、ディスプレイ上のENDアイコンが点滅します。

設定値	内 容	
	エンドオブメッセージ	エンドオブメッセージ時間
Off	Off	---
0/ 5 /10 /15 /20 /30 /60 秒 (初期設定 10 秒)	On	0/ 5 /10 /15 /20 /30 /60 秒

#### 10. 次トラックの予約(NextTrReserve)

曲が終わった後の、DN-C620の動作を設定します。

プレイモードが”Single Stop”のとき	
設定値	曲の終わりの処理
On	(次のトラックが予約されているとき)： 予約されているトラックのINDEX01の開始位置でキューモードになります。 (次のトラックが予約されていないとき)： Stop
Off(初期設定)	Stop

プレイモードが”Single Next”のとき	
設定値	曲の終わりの処理
On	(次のトラックが予約されているとき)： 予約されているトラックのINDEX01の開始位置でキューモードになります。 (次のトラックが予約されていないとき)： 次のトラックのINDEX01の頭でキューモードになります。
Off(初期設定)	次のトラックのINDEX01でキューモードになります。

プレイモードが”Single Recue”のとき	
設定値	曲の終わりの処理
On	(次のトラックが予約されているとき)： 予約されているトラックのINDEX01の開始位置でキューモードになります。 (次のトラックが予約されていないとき)： 再生開始位置でキューモードになります。
Off(初期設定)	再生開始位置でキューモードになります。

プレイモードが”Continuous”のとき	
設定値	曲の終わりの処理
On	(次のトラックが予約されているとき)： 予約されているトラックのINDEX01から再生を開始します。予約されているトラックが再生中のトラックの次のトラックのときは、INDEX00から再生を開始します。 (次のトラックが予約されていないとき)： INDEX00から再生を開始します。再生中のトラックがディスクの最後のときは停止します。
Off(初期設定)	INDEX00から再生を開始します。再生中のトラックがディスクの最後のときは停止します。

## 11. フェーダースタートモード(Fader Start)

パラレルコントロール端子のFader Startピンをショートしたときの動作を設定します。

設定値	内容
Play	Faderピン(9-23)をショートすると再生を開始します。ピンをオープンしても再生を継続します。
Play-Pause(初期設定)	Faderピン(9-23)をショートすると再生を開始します。ピンをオープンすると再生をポーズします。

## 12. INDEX Tally(Index Tally)

パラレルコントロール端子のINDEX Tallyピンの動作を設定します。

設定値	内容
Index2(初期設定)	Index2 tally信号をINDEX tallyピン(17)に出力します。
Index3	Index3 tally信号をINDEX tallyピン(17)に出力します。

## 13. モノラルモード(Mono)

LとR端子に出力する信号を強制的にモノラルにします。

設定値	内容
Off(初期設定)	出力端子からLとRのステレオ信号を出力します。
On	出力端子からLとRのミックス信号を出力します。

## 14. オートスリープモード(Auto Sleep)

停止や一時停止さらにキュー状態のまま操作が行われないときに、サーボ機能を停止するように設定することができます。

スリープモード時に▶/||/END MONボタンが押されると、スリープモードがセットされたときのトラックの頭から再生します。スリープモード時にCUEボタンが押されると、スリープモードがセットされたときのトラックの頭で一時停止します。

設定値	内容
Off	スリープモードにはなりません。
30秒 10分 20分 30分(初期設定)	設定時間以上の間サーボ機能を使う操作が行われないとスリープモードになります。

## 15. イジェクトロックモード(Eject Lock)

再生中のディスクの取り出しを禁止します。

設定値	内容
On(初期設定)	再生中のディスクの取り出しを禁止します。
Off	再生中のディスクの取り出しができます。

### 3. 本体の操作

---

#### 16. ファームウェアのバージョン確認(F/W Version)

(フロントパネルを使って)

1. STOPモードでかつ、SHIFTモードのときに、**MENU/STORE** ボタンを押します。
2. “F/W Version”がディスプレイに表示されるまで**ジョグダイヤル**を回します。



3. **ジョグダイヤル**を押します。ディスプレイ表示がファームウェアバージョンに切り替わります。
4. 取り消す場合は、**■ /CANCEL** ボタンを押します。

(リモコンを使って)

1. STOPモードのときに、**MENU/STORE** ボタンを押します。
2. **▲**または**▼**ボタンを、“F/W Version”がディスプレイに表示されるまで押します。
3. **ENTER** ボタンを押します。ディスプレイ表示がファームウェアバージョンに切り替わります。
4. 取り消す場合は、**STOP** ボタンを押します。

#### 17. デフォルト設定(Default)

すべてのプリセット項目を初期設定値に戻します。

## 4. コントロール機能

### RS232Cの制御について

メス(D-Sub9ピン)端子をオス(D-Sub9ピン)ストレートケーブルに接続して、ホスト機器によるRS232C外部制御ができます。

- RS232Cのホストは、DN-C620の機能を外部制御することができます。
- DN-C620は、ステータスの変更があると自動的にステータスデータを送信します。
- DN-C620は、以下の関連するRS232C仕様のステータスデータを送信して、ステータス要求に応えます。

#### (1) 接続について

- 適合コネクタ :9ピン D-sub(オス)
- 通信速度 :9600 bps
- データビット :8bit
- パリティ :なし
- ストップビット :1bit
- フロー制御 :なし
- ピンレイアウト

#### RS232C

ピン番号	信号名
1	Ground
6	NC
2	TxD
7	NC
3	RxD
8	NC
4	NC
9	NC
5	S. Ground

#### (2) 制御コマンドコード

制御コマンドパケットのデータ長は、7バイト以上です。シリアルデータの受信には、0x00～0x7fのASCIIコードが使用されます。伝送の終了時点で、ASCIIコードの16進データへの変換ステップを経て、データをデータパケットに設定します。データパケットの区切り文字としてCR(0x0D)を追加します。

例：番号5の制御コマンドコード(ASCIIコード@02005CR)

@	0	2	0	0	5	CR
0x40	0x30	0x32	0x30	0x30	0x35	0x0d

連続してコマンドを送信する場合には、コマンド間に100ms以上のブランクを入れます。

#### (3) ステータス要求とステータス情報コード

ステータスデータパケットの固定データ長は7バイト以上です。シリアルデータの送信には、0x00～0x7fのASCIIコードが使用されます。この理由から、データはASCIIコードがHEXデータに変換されてから、データパケットに設定されて送信されます。データパケットの区切り文字としてCR(0x0d)を追加します。

例：ステータス情報コード“Disc In”(ASCIIコード@0 CDCI CR)

@	0	C	D	C	I	CR
0x40	0x30	0x43	0x44	0x43	0x49	0x0d

#### 4. コントロール機能

##### (4) 制御コマンドコードのテーブル

コード	コマンド	コメント
"@02000"+CR	0	
"@02001"+CR	1	
"@02002"+CR	2	
"@02003"+CR	3	
"@02004"+CR	4	
"@02005"+CR	5	
"@02006"+CR	6	
"@02007"+CR	7	
"@02008"+CR	8	
"@02009"+CR	9	
"@02011"+CR	DISPLAY	
"@02012"+CR	Power Standby	
"@020PW"+CR	Power On	
"@02016"+CR	Volume Up	
"@02017"+CR	Volume Down	
"@02028ON"+CR	RANDOM ON	
"@02028OF"+CR	RANDOM OFF	
"@02029ON"+CR	REPEAT ON	
"@02029OF"+CR	REPEAT OFF	
"@02032"+CR	Track Jump ►►	
"@02033"+CR	Track Jump ◄◄	
"@02034"+CR	INDEX +	
"@02035"+CR	INDEX -	
"@02037ON"+CR	PITCH ON	
"@02037OF"+CR	PITCH OFF	
"@02038"+CR	PITCH +	
"@02039"+CR	PITCH -	
"@02045"+CR	EJECT	
"@02048"+CR	PAUSE	

コード	コマンド	コメント
"@02050"+CR	F. REVERSE	
"@02052"+CR	F. FORWARD	
"@02053"+CR	PLAY	
"@02054"+CR	STOP	
"@02059"+CR	A-B	
"@020CU"+CR	CUE	
"@020EM"+CR	END MON	
"@020SB"+CR	SKIP BACK	
"@020KL"+CR	Lock Panel's Key	
"@020KU"+CR	Unlock Panel's Key	
"@020DJ*****"+CR	Direct Jump *****=ttthhmmssff	tttはトラック番号
"@0PMSS"+CR	Play Mode - Single Stop	
"@0PMSN"+CR	Play Mode - Single Next	
"@0PMSR"+CR	Play Mode - Single Recue	
"@0PMCT"+CR	Play Mode - Continuous	
"@0PMRD"+CR	Play Mode - Random	
"@0POPL"+CR	Power On - Play	
"@0POST"+CR	Power On - Stop	
"@0SAPL"+CR	Start Mode Play	
"@0SACU"+CR	Start Mode Cue	
"@0SAST"+CR	Start Mode Stop	
"@0CURC"+CR	Cue Mode Recue	
"@0CUNT"+CR	Cue Mode Next	
"@0AC00"+CR	Auto Cue - OFF	
"@0AC48"+CR	Auto Cue -- 48dB	
"@0AC42"+CR	Auto Cue -- 42dB	
"@0AC36"+CR	Auto Cue -- 36dB	
"@0FI***"+CR	Fade In - 000:OFF, 005:0.5sec, 010:1.0sec, ... 100:10.0sec	
"@0FO***"+CR	Fade Out - 000:OFF, 005:0.5sec, 010:1.0sec, ... 100:10.0sec	
"@0SB***"+CR	SkipBack - 010:1.0sec, 015:1.5sec, ... 300:30.0sec	
"@0EM**"+CR	End Mon - 05:5sec, 10:10sec, 15:15sec, ... 35:35sec	
"@0ED**"+CR	EOM - OF:OFF, 00:0sec, 05:5sec, 10:10sec, 15:15sec, 20:20sec, 30:30sec, 60:60sec	

#### 4. コントロール機能

コード	コマンド	コメント
"@0NR**"+CR	Next Reserve - 00:ON, 01:OFF	
"@0FDPL"+CR	Fader Start -Play	
"@0FDPU"+CR	Fader Start -PlayPause	
"@0IT12"+CR	Index Tally Index2	
"@0IT13"+CR	Index Tally Index3	
"@0MO**"+CR	Mono - 00:ON, 01:OFF	
"@0AS****"+CR	Sleep-0000:OFF,0030:0.5min,1000:10min, 2000:20min, 3000:30min	
"@0EL**"+CR	Eject Lock - 00:ON, 01:OFF	
"@0DEFL"+CR	General Preset Default	



## (5) ステータス要求とステータス情報コードのテーブル

DN-C620 がステータス要求コマンドをホストから受信すると、DN-C620 はステータス情報をホストに送信します。DN-C620 のステータスに変化があると、DN-C620 は自動的にステータス情報をホストに送信します。

モード	要求コード	ステータス		
電源モード	"@0?PW"+CR		オン	"@0PW00"+CR
			スタンバイ	"@0PW01"+CR
			オフ	-
ディスク	"@0?CD"+CR		ディスクなし	"@0CDNC"+CR
			読み込み中	"@0CDRE"+CR
			ディスクイン	"@0CDCI"+CR
			実行中	"@0CDEX"+CR
			ディスクエラー (未フォーマット)	"@0CDCE"+CR
ステータス	"@0?ST"+CR	停止	停止	"@0STST"+CR
			キュー	"@0STCU"+CR
			スリープ	"@0STSL"+CR
		再生	再生	"@0STPL"+CR
			再生一時停止	"@0STPP"+CR
			早送り	"@0STFF"+CR
			巻き戻し	"@0STRW"+CR
			エンドモニタ	"@0STEM"+CR
		その他	ユーティリティ/プリセット	"@0STED"+CR
			操作エラー	"@0STER"+CR
時間モード	"@0?TM"+CR	時間モード	ディスク合計時間	"@0TMTD"+CR
			トラック経過時間	"@0TMTT"+CR
			トラック残り時間	"@0TMTR"+CR
			ファイル名	"@0TMFN"+CR
			ファイル情報	"@0TMFI"+CR
			記録チャンネル	"@0TMCH"+CR
トラック番号	"@0?TR"+CR		トラック番号	"@0TR***"+CR
表示時間	"@0?TI"+CR		時間	"@0TIhhmmssff"+CR

#### 4. コントロール機能

モード	要求コード	ステータス	
音量	"@0?VM"+CR	音量	"@0VM***"+CR
ピッチ	"@0?PT"+CR	ピッチ	"@0PT***"+CR
テキスト情報曲名	"@0?T1"+CR	テキスト情報曲名	"@0T1***..." +CR *1
テキスト情報アーティスト	"@0?T2"+CR	テキスト情報アーティスト	"@0T2***..." +CR *1
テキスト情報アルバム名	"@0?T3"+CR	テキスト情報アルバム名	"@0T3***..." +CR *1
POSコード	"@0?C1"+CR	POSコード	"@C1*****"+CR
ISRCコード	"@0?C2XX"+CR	ISRCコード	"@C2*****"+CR
プレイモード	"@0?PM"+CR	Single Stop	"@0PMSS"+CR
		Single Next	"@0PMSN"+CR
		Single Recue	"@0PMSR"+CR
		Continuous	"@0PMCT"+CR
		Random	"@0PMRD"+CR
パワーオン再生	"@0?PO"+CR	Play	"@0POPL"+CR
		Stop	"@0POST"+CR
スタートモード	"@0?SA"+CR	Play	"@0SAPL"+CR
		Cue	"@0SACU"+CR
		Stop	"@0SAST"+CR
キューモード	"@0?CU"+CR	Recue	"@0CURC"+CR
		Next	"@0CUNT"+CR
オートキュー	"@0?AC"+CR	Off	"@0AC00"+CR
		- 48dB	"@0AC48"+CR
		- 42dB	"@0AC42"+CR
		- 36dB	"@0AC36"+CR
フェードイン	"@0?FI"+CR	時間	"@0FI***"+CR
フェードアウト	"@0?FO"+CR	時間	"@0FO***"+CR
スキップバック	"@0?SB"+CR	時間	"@0SB***"+CR
エンドモニタ	"@0?EM"+CR	時間	"@0EM**"+CR
エンドオブメッセージ	"@0?ED"+CR	時間	"@0ED**"+CR
次トラックの予約	"@0?NR"+CR	オン	"@0NR00"+CR
		オフ	"@0NR01"+CR

\*1: 0～255文字

モード	要求コード	ステータス		
フェーダースタート	"@0?FD"+CR		再生	"@0FDPL"+CR
			再生一時停止	"@0FDPU"+CR
Index Tally	"@0?IT"+CR		Index2	"@0IT12"+CR
			Index3	"@0IT13"+CR
モノラル	"@0?MO"+CR		オン	"@0MO00"+CR
			オフ	"@0MO01"+CR
スリープ	"@0?AS"+CR		時間	"@0AS****"+CR
イジェクトロック	"@0?EL"+CR		オン	"@0EL00"+CR
			オフ	"@0EL01"+CR

## 4. コントロール機能

### (パラレル) コントロール

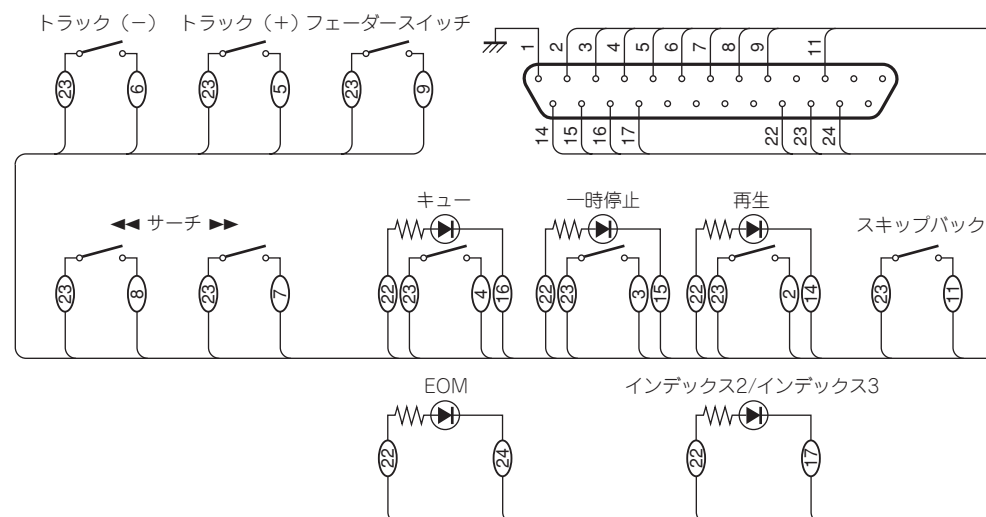
#### (1) 接続について

- 適合コネクタ :25ピン D-sub(オス)
- 接続信号のレイアウト

ピン番号	信号名	I/O
1	FG	-
14	PLAY tally	O
2	PLAY command	I
15	PAUSE tally	O
3	PAUSE command	I
16	CUE tally	O
4	CUE command	I
17	INDEX2/INDEX3	O
5	TRACK (+) command	I
18	Reserved	-
6	TRACK (-) command	I
19	Reserved	-
7	SEARCH (Fwd) command	I
20	Reserved	-
8	SEARCH(Rev) command	I
21	Reserved	-
9	FADER START command	I
22	Tally power supply	-
10	Command common	-
23	Command common	-
11	SKIPBACK command	I
24	EOM tally	O
12	Reserved	-
25	Reserved	-
13	Reserved	-

#### (2) リモートコントロールの接続

- 接続例



#### ご注意

- この端子のピンNo.22(TALLY POWER SUPPLY)から、外部のリモートコントローラに電源を供給しますが、このピンの最大定格は+5VDC 100mAとなっていますので、定格を超えることの無い様に回路および電流制限(抵抗値)を選択してご使用下さい。定格内で使用しないと製品の故障の原因となるほか、火災や思わぬ事故を引き起こす原因になることがあります。

#### ご注意

- Tally出力ピンはオープンコレクタになっています。(最大電流:48mA、最大電圧:5.5V)
- Tally入力ピンはLVTTTL仕様でVccは3.3Vです。
- Tally power supply(22ピン)が供給できる電流は最大100mAです。

## RC入力コントロールジャック

ワイヤードリモコン用のミニジャックです。

### (1) 回路図



- プラグの左チャンネル(VCC)と二つ目以降のR001(20  $\Omega$ )を接続しないでください。
- 誤差5パーセント以内の抵抗をご使用ください。  
誤差の大きい抵抗を使うと誤動作の原因になることがあります。
- 左チャンネル(VCC)をショートしないでください。故障の原因になることがあります。

### (2) パラレル接続時の操作について

ひとつのボタンにパラレル接続して数台のDN-C620を同時に操作することができます。パラレル接続して操作できる台数は最大5台までです。

### (3) ケーブルの長さ

ケーブルが長くなると外来ノイズによって信頼性が低下します。

ケーブルの長さは2メートル以内でご使用ください。

ケーブルの近くにノイズが発生する装置を置かないでください。ノイズにより誤動作することがあります。

- 本体の操作中にリモコン用プラグの抜き差しをしないでください。  
プラグのピンがジャック内部でショートし動作が停止することがあります。
- ワイヤードリモコンボックスのボタンを組み合わせると同時に二つ以上使用すること(組み合わせ操作)はできません。
- ワイヤードリモコンボックスのボタンと本体のボタンを組み合わせると同時に使用すること(組み合わせ操作)はできません。

### リモートコントロールボックスについてのご注意

- ひとつのコントロールボックスに複数のセットが接続された場合、一台のセットの電源をオンオフしたりリモコンジャックを抜き差しすると、他のセットが誤動作することがあります。
- 複数のセットがリモコンボックスに接続されているときに、そのうちの一台のセットの電源をオン・オフしたりリモコンのジャックを抜き差しする場合は、リモコンボックスのトグルスイッチ(SW101,102,...)をオフ(オープン)にしてから行って下さい。

## 5. トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、その前に以下の点をご確認ください。

1. 接続はすべて正しいですか？
2. システムコンポーネントはすべて、取扱説明書に従って正しく操作していますか？
3. スピーカやアンプが正しく動作していますか？

本機が正常に動作しない場合は、以下のリストについて症状をもう一度ご確認ください。チェックリストに該当する症状がない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、お近くの修理相談窓口または当社までご連絡ください。

現象	原因	処置
ディスクが取り出せない。	• 電源スイッチが入っていない。	• 電源スイッチを入れてください。
ディスクを入れたときに、“TOC Error” または “No Disc” が表示される。	• ディスクが正しく入っていない。	• ディスクを入れなおしてください。
“Disc Error” が表示される。	• ディスクが正常に記録されていない。または対応外のディスク。	• 一度電源を切ってから入れなおしディスクを取り出す。
PLAY ボタンを押しても、再生が開始しない。	• ディスクが汚れていたり、傷が付いたりしている。	• ディスクのクリーニングをしてください。
音が出ない、または歪む。	• 出力コードが正しく接続されていない。 • アンプの調整が不適切である。	• 出力コードを正しく接続してください。 • アンプをもう一度調節してください。
ディスクの特定の部分が正しく再生されない。	• ディスクが汚れていたり、傷が付いたりしている。	• ディスクのクリーニングをしてください。
プログラム再生が動作しない。	• プログラム再生の操作に誤りがある。	• プログラム再生をもう一度開始してください。
リモコンが効かない。	• 乾電池が入っていないか、消耗している。	• 乾電池が正しく挿入されているかご確認ください。 • 乾電池を新しいものに取り替えてください。
ファイルが再生されない。	• デコードエラー。	• 再生しようとしているファイルに対応する拡張子が付いていることと、DN-C620 がサポートするフォーマットであることをご確認ください。

# 6. 主な仕様

## ■ 全般

ディスクのタイプ：                   スタンダードコンパクトディスク(12 cm/8 cm)  
  CD-R, CD-RW

### ご注意

- 本機はファイナライズされたディスクを再生することができます。但し、録音状態などにより、一部のディスクは再生できないことがあります。

## ■ オーディオ部

音声チャンネル：                   2チャンネルステレオ  
周波数特性：                   10～20,000Hz ± 1.0 dB  
ダイナミックレンジ：           98 dB  
SN比：                           100 dB(1kHz, 0 dB再生, A filter)  
チャンネルセパレーション：   96 dB(1kHz, 0 dB再生, A filter)  
全高調波歪率：                0.004 %(1kHz, 0 dB再生, A filter)  
アナログ出力：  
アンバランス出力(RCA)：       2.0 Vrms/10 kΩ(0 dB ディスク)  
可変範囲(VARIABLE 端子)：   4.0 Vrms(0dB ディスク, volume max)  
バランス出力(XLR)：           +20 dBu/600 Ω(0 dB ディスク)  
可変範囲：                    +24 dBu～+0 dBu(0 dB ディスク)  
デジタル出力：  
アンバランス出力(RCA)：       0.5 Vp-p/75 Ω  
バランス出力(XLR)：           3.5 Vp-p/110 Ω  
ヘッドホン出力：               20 mW/33 Ω  
ピッチコントロールの可変範囲： ± 12 %  
フレームサーチ精度：         1/75秒

## ■ 信号方式

サンプリング周波数：           44.1 kHz  
量子化ビット数：               16 bit

## ■ リモートコントロール

シリアルリモート：               RS232C, D-Sub 9ピン  
パラレルリモート：               D-Sub 25ピン  
赤外線リモコン入力：           赤外線センサー  
IR FRASH：                       RC Inコントロールジャック

## ■ 電源部

電源：                           AC100 V ± 10 %、50/60 Hz  
消費電力：                       10 W

## ■ キャビネット・その他

設置：                           19インチ 1Uラックマウント  
最大寸法：                       482.6(幅)× 44(高さ)× 325(奥行き)mm  
質量：                           4.3 kg

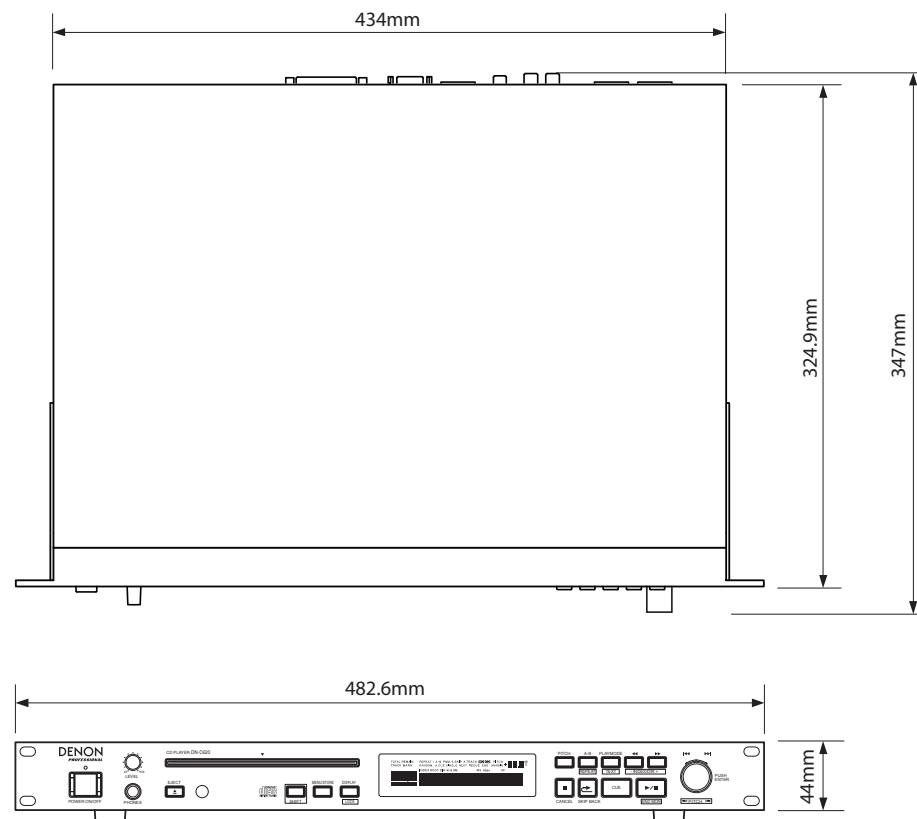
## ■ 環境条件

許容動作温度：                   +5℃～+35℃  
許容動作湿度：                   25%～85%(結露のないこと)  
許容保存温度：                   -20℃～+60℃  
許容保存湿度：                   25%～85%(結露のないこと)

### ご注意

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
- 本機は国内仕様です。必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

## ■ 外観寸法図



\* 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

株式会社 ディーアンドエムホールディングス  
プロフェッショナルビジネスカンパニー

〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2  
茅場町タワー

国内営業本部 TEL : 03 - 6731 - 5588

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、12 : 45 ~ 17 : 30

(弊社休日および祝日を除く、月 ~ 金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、  
次の URL でもご確認できます。

<http://www.dm-pro.jp>

後日のために記入しておいてください。

購入店名： 電話（ - - ）

ご購入年月日： 年 月 日